学校番号	1008

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	(学)オーラルコミュニケーション	2	3	FIFTY-FITY（Book Two）

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

NET 主導で教案を作成している。ICT を活用した授業を展開している。
① Listening (Standard British English、Standard American English)
② Conversation
③ Public speaking (Speech/Debate)
④ Getting some knowledge about foreign culture
尚、JTE は理解の確認をしつつ、生徒が積極的に自身の考えを英語で発信出来るようにサポートする。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第３学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	①自然な速さで話される日常的な話題について、使用される語句や文、概要や要点だけでなく詳細も聞きとって、会話の一連の流れや意図を理解することが出来る。 ②自然な速さで話される社会的な問題や背景について、使用される語句や文、概要や要点だけでなく詳細も聞きとって、必要な情報を聞き取り、目的に応じて捉えることが出来る。	①日常的な話題について、使用される語句や文、情報の概要や要点に加え、詳細も読み取り、書き手の意図を理解することが出来る。 ②社会的な問題や背景について、使用される語句や文、概要や要点に加え、詳細な情報も読み取り、必要な情報を目的に応じて捉えることが出来る。	①日常的な話題について､使用する語句や文、対話の展開に支援を活用することにより、基本的な語句や文を用いて、話し手に情報や考え等を伝え合うことにより、意思決定をし、互いに理解し合えるやり取りが出来る。 ②社会的な話題について、支援を活用することにより、聞いたり読んだり経験したことを、基本的な語句や文を用いて意思決定をし、話し手に情報や考え等を論理的観点から伝え話し合うことが出来る。	①日常的な話題について使用する語句や文、対話の展開に(支援を活用することで)基本的な語句や文を用いて、聞いたり読んだりしたことを自分の言葉でリテリングしながら、話し手に情報や考え等を伝え合い、互いに理解し合えるやり取りが出来る。 ②社会的な話題について、支援を活用することにより、聞いたり読んだり経験したことを、基本的な語句や文を用いて、自分の言葉でリテリングしながら、話し手に情報や考え等を論理的観点から伝え、話し合うことが出来る。	①日常的な話題について(支援を活用することにより)使用する語句や文の事前準備を円滑に進める。基本的な語句や文を用いて必要な情報、時系列に沿った記録、具体的な理由を添えた自分の意見や気持ちを論理的な文章で書いて伝えることが出来る。 ②社会的な話題について支援を活用することにより、使用する語句や文の事前準備を円滑に進める。基本的な語句や文を用いて必要な情報、時系列に沿った記録、具体的な理由を添えた自分の意見や気持ちを論理的な文章で書いて伝えることが出来る

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	（評価方法） ・学期末考査 ・小テスト （評価の観点） 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めると同時に、これらの知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につける。	（評価方法） ・学期末考査 ・小テスト ・パフォーマンス（実技）評価 （評価の観点） 学習した表現を用いてコミュニケーションを行う場面、状況や目的に応じて日常的な話題から社会的な話題まで、外国語で情報や考え等の概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図を正確に理解し、適切に表現し合う。	（評価方法） ・授業ノートの提出 ・パフォーマンス（実技）評価 ・自主的に参加することによる評価 ・学年末課題 （評価の観点） 外国語を通して、文化的背景等の理解を深め、聞き手や話し手として主体的且つ自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることが出来る。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	GETTING STARTED Lesson 1 JUST ASKING (Asking for information) Lesson 2 IT’S BLALK AND WHITE (Describing things)	聞くこと	a: native speaker の会話を聞きスピードに慣れる。 b: Listening practice で英語の音声上の理解度を深める。同時に英語の音声に慣れる。 c: 絵を参考にしながら Listening の練習をし、英語の音声に慣れる。	授業中の活動 worksheets assignments recitation 定期考査
		読むこと	a モデル会話文を読み上げて練習する。(NET の後に続いてリピート後、ペア活動) b: partner と知らない単語をチェックし合い、会話の状況から意味を推測し、理解する。 c: 会話の場面状況を理解、想定して自然な会話が成立するように取り組む。	授業中の活動 worksheets assignments recitation 定期考査
		話すこと （会話）	a: 出来るだけ教科書を見ないように、ペアワークで会話練習。 b: パートナーや例文を変えて、繰り返し何度も練習する。 c: 他の生徒の前で public speaking を披露し、NET から評価を得る。	授業中の活動 worksheets assignments recitation 実技評価
		書くこと	a: 会話の一部をモデルフレーズを用いて埋める。 b: NET に与えられた課題について独自の英文を書き、public speaking に備える。 c: 授業内の notes は極力英語表記する。	授業中の活動 worksheets Assignments recitation 定期考査
	（中間考査）			
	Lesson 3 WOULD YOU MIND? (Making requests) Lesson 4 TURN IT CLOCKWISE (Giving instructions)	聞くこと	a: native speaker の会話を聞きスピードに慣れる。 b: Listening practice で英語の音声上の理解度を深める。同時に英語の音声に慣れる。 c: 絵を参考にしながら Listening の練習をし、英語の音声に慣れる。	授業中の活動 worksheets assignments recitation 定期考査
		読むこと	a: モデル会話文を読み上げて練習する。(NET の後に続いてリピート後、ペア活動) b: partner と知らない単語をチェックし合い、会話の状況から意味を推測し、理解する。 c: 会話の場面状況を理解、想定して自然な会話が成立するように取り組む。	授業中の活動 worksheets assignments recitation 定期考査

	Lesson 5 SAY THAT AGAIN (Review and consolidation)	話すこと （会話）	a: 出来るだけ教科書を見ないように、ペアワークで会話練習。 b: パートナーや例文を変えて、繰り返し何度も練習する。 c: 他の生徒の前で public speaking を披露し、NET から評価を得る。	授業中の活動 worksheets assignments recitation 実技評価
		書くこと	a: 会話の一部をモデルフレーズを用いて埋める。 b: NET に与えられた課題について独自の英文(speech 原稿)を書き、public speaking に備える。 c: 授業内の notes は極力英語表記する。	授業中の活動 worksheets assignments recitation speech 定期考査
	期末考査			
2	Lesson 6 GO RIGHT AHEAD (Asking for permission) Lesson 7 EXCUSES, EXCUSES (Making excuses and giving reasons)	聞くこと	a: native speaker の会話を聞きスピードに慣れる。 b: Listening practice で英語の音声上の理解度を深める。同時に英語の音声に慣れる。 c: 絵を参考にしながら Listening の練習をし、英語の音声に慣れる。	授業中の活動 worksheets assignments recitation 定期考査
		読むこと	a: モデル会話文を読み上げて練習する。(NET の後に続いてリピート後、ペア活動) b: partner と知らない単語をチェックし合い、会話の状況から意味を推測し、理解する。 c: 会話の場面状況を理解、想定して自然な会話が成立するように取り組む。	授業中の活動 worksheets assignments recitation 定期考査
		話すこと （会話）	a: 出来るだけ教科書を見ないように、ペアワークで会話練習。 b: パートナーや例文を変えて、繰り返し何度も練習する。 c: 他の生徒の前で public speaking を披露し、NET から評価を得る。	授業中の活動 worksheets assignments recitation 実技評価
		書くこと	a: 会話の一部をモデルフレーズを用いて埋める。 b: NET に与えられた課題について独自の英文を書き、public speaking に備える。 c: 授業内の notes は極力英語表記する。	授業中の活動 worksheets assignments recitation 定期考査
	（中間考査）			
	Lesson 8 COULDN'T AGREE MORE (Giving opinions) Lesson 9 BIGGER AND BETTER (Comparing things) Lesson 10 SAY THAT AGAIN (Review and consolidation) Lesson 11 IF I WERE YOU (Giving advice and making suggestions)	聞くこと	a: native speaker の会話を聞きスピードに慣れる。 b: Listening practice で英語の音声上の理解度を深める。同時に英語の音声に慣れる。 c: 絵を参考にしながら Listening の練習をし、英語の音声に慣れる。	授業中の活動 worksheets assignments recitation 定期考査
		読むこと	a: モデル会話文を読み上げて練習する。(NET の後に続いてリピート後、ペア活動) b: partner と知らない単語をチェックし合い、会話の状況から意味を推測し、理解する。 c: 会話の場面状況を理解、想定して自然な会話が成立するように取り組む。	授業中の活動 worksheets assignments recitation 定期考査
		話すこと （会話）	a: 出来るだけ教科書、プリントを見ないように、ペアワークで会話練習。 b: ペアで debate の内容について考え、練習する。 c: 他の生徒の前で debate を披露し、NET から評価を得る。	授業中の活動 worksheets assignments recitation 実技評価
		書くこと	a: 会話の一部をモデルフレーズを用いて埋める。 b: NET に与えられた課題について独自の英文を書き(debate 原稿)、public speaking に備える。 c: 授業内の notes は極力英語表記する。	授業中の活動 worksheets assignments recitation 定期考査
	期末考査			

3	Lesson 12 HAVE YOU EVER…? (Talking about experiences) Lesson 13 HOW ABOUT DINNER? (Inviting) Lesson 14 IT'S GONNA RAIN (Making predictions) Lesson 15 SAY THAT AGAIN (Review and consolidation)	聞くこと	a: native speaker の会話を聞きスピードに慣れる。 b: Listening practice で英語の音声上の理解度を深める。同時に英語の音声に慣れる。 c: 絵を参考にしながら Listening の練習をし、英語の音声に慣れる。	授業中の活動 worksheets assignments recitation 小テスト
		読むこと	a: モデル会話文を読み上げて練習する。(NET の後に続いてリピート後、ペア活動) b: partner と知らない単語をチェックし合い、会話の状況から意味を推測し、理解する。 c: 会話の場面状況を理解、想定して自然な会話が成立するように取り組む。	授業中の活動 worksheets assignments recitation 小テスト
		話すこと (会話)	a: 出来るだけ教科書を見ないように、ペアワークで会話練習。 b: パートナーや例文を変えて、繰り返し何度も練習する。 c: 他の生徒の前で public speaking を披露し、NET から評価を得る。	授業中の活動 worksheets assignments 実技評価
		書くこと	a: 会話の一部をモデルフレーズを用いて埋める。 b: NET に与えられた課題について独自の英文を書き、public speaking に備える。 c:授業内の notes は極力英語表記する。	授業中の活動 worksheets assignments 小テスト
	(学年末考査)			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度